

報道機関 各位

黒塗り（マスキング）処理の自主点検結果について

1 概要

北九州市教育委員会や他都市において、電子データの黒塗り（マスキング）処理に不備が生じていた事案が確認されたことを受け、市において自主点検を実施いたしました。

その結果、一部の電子データについて、黒塗りした情報を閲覧できる可能性がある状態で提供されていたことが判明いたしました。

対象となるデータについては、すべて回収又は廃棄済みであることを確認しています。また、現時点において、二次利用が行われた事実は確認されていません。

北九州市では、本件を踏まえ、再発防止策を徹底し、情報管理の一層の適正化に努めてまいります。

(1) 発生要因

マスキング処理後にPDFファイルを作成する際、「イメージ変換出力」ではなく、「印刷メニューのPDF変換」を行った場合、マスキング箇所をコピーして文書作成ソフト等に貼り付けるなどの特定の操作が行われると、マスキング部分の情報を閲覧できる状態になっていた。

(2) 閲覧できる可能性があった情報（57件）

①個人情報

氏名、住所、電話番号など（1, 139人）

②法人情報

法人印の印影など（395社）

※要配慮個人情報及び特定個人情報（マイナンバー）は含まれていません。

2 対応状況

(1) データ提供先への対応

対象となるデータはすべて回収又は廃棄済みであることを確認しています。また、現時点において、複製や転用など、本件に起因する二次利用は確認されていません。

(2) 対象（個人・法人）となる方への対応

対象となる方へは、本件の経緯と対応について個別にお知らせします。

3 今後の対応（再発防止策）

再発防止に向け、次の取組を進めます。

- (1) マスキング処理後は、複数職員による確認を徹底します。
- (2) マスキング処理が適切に行われているかを確認するため、A I を活用したチェック機能や、簡易に確認できるソフトウェアを全庁的に導入します。
- (3) 本件を踏まえた情報セキュリティ研修を実施し、職員の知識や意識の向上を図ります。

【問い合わせ先】

総務市民局総務部 部長：滝、文書館長：阪本
政策局DX・A I 戦略室 室長：篠原、次長：樋口
(TEL：582-2847)